あおぞらニコニコ通信
令和５年度３月号

社会福祉法人三田谷治療教育院　明石市立あおぞら園・きららきら
〒674-0092 明石市二見町東二見 1836 番地の１
ふれあいプラザあかし西 ２階
TEL. 078-945-0280 FAX. 078-945-0281
E-Mail : aozorakirakira@sandaya.or.jp
あおぞら園 QRコード

いつも笑顔！　飯塚園長ごあいさつ

少し春の気配が感じられるこの頃ですね。

どの業界も年度末ということで、超多忙な日々を送っている事と思います。もちろん、私も年度末の書類作成、新年度の書類準備や会議等で相変わらずバタバタしている毎日です。

ただ、やはりあおぞら園やゆりかご園の子どもたちの笑顔に元気を頂いています。パズルの型はめをしているお子様が一つはめるごとに、ギャラリーの私の方を「どう？」という表情で見てくれます。絶賛の拍手でほめると、次に挑戦！お子様が喜んでくれますが、一番うれしく幸せなのは、もちろん私です。お子様の笑顔は、何にも勝る幸せのお薬ですね。

今年度もあと少しです。令和６年度も子どもたちのたくさんの笑顔を作り、できることが一つでも増え、ご家族の皆様が安心してあおぞら園を利用して頂ける様、更に職員一同努力してまいります。

日本の伝統行事をリアルに体験！　～あおぞら園・きららきら節分のご報告～

見た目はコワいですが良い子には
めっぽう弱いあおぞら園・きららきらの鬼さん

今年も節分にこわ～い鬼があおぞら園にやってきました。豆まきの練習を保育室でしているところに鬼が入ってきて、クラスの子どもたちで力を合わせて一生懸命豆まきして退治しました。

途中、鬼に一人一人掴まってしまう場面があるのですが、喜んだり、泣いたり、緊張して固まったり、お子様によって反応は様々で節分の豆まきをまさに「体感」してもらいました。無事に全クラス鬼を退治でき、鬼が去った後は万歳をして達成感を味わったり、部屋の隅に座って落ち着いたりと、ホッとした空気に包まれました。豆まきでは普段の療育では見られないお子様たちの表情を見ることができました。

このような季節の行事をたくさん体験してもらい、楽しいこと、怖いこと、できたという気持ちなど様々な感情を表現できる力を育てていければと思っています。（井坂）

きららきらでは、１月 29 日～２月２日の期間で節分行事を行いました。節分行事の前週から「鬼のパンツ」の歌や、鬼が出てくる絵本、ボール遊びの際に鬼のイラストを出し、鬼に向かってボールを投げるなど、お子様が少しでも鬼に慣れる事ができるよう活動の中で、節分行事の導入を行って参りました。

当日は、新聞紙を丸め、鬼を退治する豆の制作を行いました。作った豆を使って、鬼のパネルに向かって豆を投げていると…後方から鬼が登場！！怖くてお母さんにしがみつき泣く姿や、なんだか面白そうと笑顔で近付いていく姿、必死に豆を投げ鬼に立ち向かう姿…お子様によって反応は様々で、保護者の方も職員もお子様の新たな一面を見ることができました。

四季折々の行事を経験することによって、季節や一年の流れを知る事ができたり、何よりもお子様の心を育む良い機会になると思います。ぜひとも、ご家庭でもお子様の様子を振り返っていただき、小さな変化や成長を感じて頂けたらと思います。（藤原）

園での普段の様子を保護者の方に　～あおぞら園の療育参観～

職員と一緒に楽しく遊ぶ
いるか組のお子様

あおぞら園では、年２回、療育参観を行っています。

参観といえばお子様たちが遊んだり、活動を行っている様子をお部屋の後ろで保護者の皆様が見る形を想像されるかもしれませんが、あおぞら園ではお部屋の外からお子様たちに見つからないようにこっそり見ていただきます。

こっそり見ていただく理由は、保護者の方から「普段のあおぞら園で過ごしている様子を見たい！!」という要望をいただいたことが、実施するきっかけとなりました。保育室の窓から様子を見ていただき、職員から遊びのねらいや普段の様子を説明させていただいています。

保護者の方々や職員はお子様に見つかってしまわないかヒヤヒヤすることはありますが、お子様たちは普段通りの笑顔や元気に遊ぶ姿を見せていました！!（大向）

みんなでわくわくドキドキライブ体験！　～余暇活動の幅を広げるイベント～

手話通訳・要約筆記などを取り入れた
みんなでわくわくドキドキライブ体験

障害のあるお子様にもホールでのマナーを学ぶ機会の提供を目的に２月 12 日（月）、子午線ホールで「みんなでわくわくドキドキライブ体験」を開催しました。この主旨に賛同していただいたダンシングチーム KIRARA 様とザ・オイオイズ様がご出演していただき、事前申し込みでは 80 名程度でしたが、結果は障害の有無に関わらず、150 名以上のたくさんの方々にご来場していただきました。

今回は第１回目として広報不足や配慮不足など、まだまだ改善する課題はたくさんありますが、ゆりかご園のふりかけ project 同様に「じっとしていられないから」「声を出してしまうから」などの理由で余暇活動が制限されているご家族に寄り添い、どのように配慮すれば鑑賞できるのか？楽しく練習できる機会を作り続けていきたいと思います。（服部）

法人の魅力を学生の皆さまにしっかりアピール！　～就職フェアご報告～

就職フェアで存分に法人アピールした
あおぞら園の泉川主任（中央）と
ゆりかご園の徳岡主任（右）

２月 15 日（木）に兵庫県知的障害者施設協会主催の「障害児者支援施設　就職フェア 2024」があかし市民広場であり、社会福祉法人三田谷治療教育院としてブース出展をさせていただきました。県内にある 19 の社会福祉法人が集まり、求人者の方に福祉職の魅力や法人の魅力をアピールしました。

就職活動を始めた大学３年生の方が多く、熱心に話を聞いていただきました。「実習で福祉施設に行き、楽しかった」「放デイでアルバイトをしている」等をきっかけに福祉の仕事に興味を持ったという方が多数おられました。

あおぞら園の職員でも実習をきっかけに入職した職員もいます。これからもいろいろな機会を活用し、福祉職の魅力をアピールし、一緒に働く仲間を増やしていきたいと思います。（泉川）